



国際会長 (IP) Joan Wilson (カナダ)

“Our Future Begins Today”

「私たちの未来は、今日より始まる」

アジア地域会長 (AP) Tung Ming Hsiao (台湾)

“Through Love, Serve”

「愛をもって奉仕をしよう」

東日本区理事 (RD) 利根川 恵子 (川越)

「明日に向かって、今日動こう」

“For the Future, Act Today!”

湘南・沖縄部部長 (DG) 若木 一美 (横浜とつか)

「あなたが退会しない理由は？」 ~明るく・楽しく・元気よく~

横浜クラブ会長 (CP) 金子 功

「YMCA とともに！」

“Together, with YMCA!”

会長 金子 功
副会長 舟田 正夫
書記 伊藤 誠彦
会計 古田 和彦
直前会長 松島 美一

監事 松島 美一
ブリテン 高田 一彦
担当主事 青木 一弘

「富の勘定」

今村 譲

まだ知恵のない者はいくら得たかで富を勘定し、
神の恩恵を受けて生かされているあなた方は
いくら与えたかで富を勘定する。

ワイズメンワールド 日本語ダイジェスト版
NO11 1999-2000
ピエット・ハイン
デンマークの詩人であり「超楕円」の発明者

一です。

現役の最後の10年、欧州によく出張しました。帰国する時、チューリッヒ発のJALに乗ると早朝成田に着きます。秋田上空で「あと30分で成田空港です。ベルトをおしめ下さい。」とのアナウンス。シベリアを延々10時間かけて飛び、日本上空はわずか30分。日本は何と小さいことか。だが、ここに1億3千万人弱の人が住み、その多くがたらふく食べて、世界一長生きしています。自慢に値すると思いましたが、

茨城県の日立市上空当りで方向を変えた機は海岸線を南下します。ふと前方右下を見ると涸沼が見えます。昔、夏休みがくると親戚に泊まりシジミを取ったり、鮒や雷魚を獲ろうとヤスを振り回した所です。顔を上げると筑波山。小学6年の遠足で登りました。頂上まで競走です。更に視線を上げると雲海の彼方に朝日に映える富士山が！ 涸沼、筑波山、富士山が一直線上にある！すごい。大発見をしたような感動を覚えました。

涸沼が前方右下なら、機は水戸九代藩主の命名による水戸八景の一つ「水門（みなと）の帰帆」のある那珂湊上空だ。この下には日本初の溶鉱炉がある。鮭が溯上する最南の川、那珂川の河口もこの下だ。

出雲風土記に美保湾の弓ヶ浜を網と見立て、大山を杭として、遠く能登半島から舟を漕ぎ出し、魚を追いつむという話があります。常陸風土記にも雄大な話が残っています。富士山と筑波山は兄弟でした。神祖の尊が新嘗祭の夜、子供である富士山を訪ねて一夜の宿を請うたが断られ、別の子である筑波山に宿を請うたところ、こころよく招き入れられ、歓待を受けました。神祖の尊はこれをいたく喜び筑波山を讃えました。これより後、富士山は常に雪に覆われて登れず、筑波山には人々が集い、歌や舞が供され、歌垣が繰り広げられる

今月のひとこと

「空からのお国自慢」

大高 治



長い歴史と風光明媚な自然が多い日本には、数多くの物語や郷土自慢、お国自慢があります。山梨県や静岡県の人々に「お国自慢は？」と問えば「富士山」と返ってくることでしょう。富士山は日本の誇り。当然です。お国自慢には様々なものがあり

ます。山や川、神社仏閣、高校野球や芸術、偉人賢人、特産物に産業。郷土自慢、お国自慢は文化でありアイデンティティ

ようになったとされています。

昔々の人々は実に雄大な発想で、堂々と郷土の自慢をしています。酒沼、筑波山、富士山が一直線上にあると知ったなら、常世の風の吹く常陸の国の先人は、更にもどのような物語を残したであろうか。日本を代表する横浜港や近代的な人工美溢れる横浜を風土記の世界の目で眺めたなら、どのような物語が出来るだろうか。

和銅6年(713)風土記撰進の詔が出され、10年の歳月をかけて養老7年(723)に完成したと伝えられる風土記、1,300年前の先人は、郷土愛を縦横にめぐらし、この小さな国土をより大きく、豊かに見せようとしたかのようです。中央もまた地方の発想を評価し、地方創生、地方自治を奨励したかのようです。このおおらかで豊かな発想、現代においてこそ見倣う必要がありそうです。

<2016年10月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F	
19名 (功労 会員1 名を含 む)	メシ 13名	72 %	今月分	
	メネット 1名	(メーキャップ	切手	0g
	コメント 0名	名を含む)	現金	0円
	ビジター 1名		年度累計	
	ゲスト 0名	前月修正出席	切手	0g
	合計 15名	率	現金	0円

<11月の行事予定>

強調月間【*ワイズ理解、ファミリーファースト*】

日	曜	時間	行事内容	場所
5	土	13:00	第2回区役員会	四ツ谷
10	木		ワイズデー	
10	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央Y
19	土	13:00	横浜クラブ第二例会	中央Y
19	土	14:00	フェスタ準備会	中央Y
23	木	9:00	ウエルカム フェスタ	中央Y
26	土	15:00	第二回部評議会	中央Y

<10月例会報告>

金子 功

日時：10月13日(木) 18:30~20:30

場所：横浜中央YMCA 501号室

出席者：伊藤&妹、今村、大江、大高、金子、古賀、斉藤、高田、田口、野村、平岡、舟田、松島

ゲスト：太田勝人ワイズ(卓話者)



卓話中の太田ワイズ

松島ワイズの司会により、金子会長の開会点鐘、挨拶をもって定刻に開会された。全員でワイズソング・ワイズの信条を唱和、引き続き金子ワイズが選んだ聖

句の朗読とその解説を聴いた。

当日のゲストは卓話者として招かれた世田谷クラブの太田勝人ワイズ。横浜クラブにとっては顔なじみのビジターでもある。紹介の後、金子ワイズの食前感謝で会食に入った。

卓話を太田勝人ワイズにお願いした当初の狙いは、金子会長によれば、日頃の太田ワイズのワイズに対する情熱から「ワイズライフの楽しみ方」でもお話ししてもらおう積りであったとのことであったが、当日のタイトルは、ご本人の海外駐在経験から、娘さんがドイツ、アメリカで受けた教育を通して感じた「日本の教育に望むこと」であった。

太田さんは大学卒業と同時に楽器メーカーのヤマハに就職、主に海外事業を担当したことにより、娘さんが小学校3年生の時にドイツのハンブルグに駐在、ドイツの教育制度の下で成長する娘さんの姿を目の当たりにして、本人が知る日本の教育と比較して、その素晴らしさを感じたと。ドイツは、先ず外国人に対する教育に優れている。個性を生かし、能力を存分に生かす仕組みが確立している。娘さんは算数の九九ができたので算数の計算は抜群、褒められると共に自信を深め、従って人間的な成長にも大きな影響を受けた。その後、アメリカに渡って米国で教育を受けた時には、人間の自立心が大きいに養われた。修学旅行に行くときなどは、費用は自分たちで工面するよう指導された。娘はクラリネットの演奏ができたのでバンド演奏などして旅行の資金稼ぎをした。学校では議論をすることによって自分の意見を持ち、その意見を述べ、主張する(ディベート)する能力が培われた。引き替え、日本の教育は、家庭でも学校でもまだまだ「出る釘はうたれる」的傾向がある。先般、台北で開催されたワイズの国際大会のユース・コンボケーションでも日本のユース代表の発言が乏しいことを懸念した。

Q&Aではいろいろな意見が交わされ日本の教育について皆が思いを馳せる有意義な時間を過ごした。

ビジネスでは今後の予定等をレビュー検討し定刻の20:30に終了した。今月のハッピーバースデー該当者は不在であった。(今月のロバ献金：13,800円)

「第19回横浜YMCAチャリティーラン報告」

伊藤 誠彦

久しぶりの秋晴れのもと、第19回横浜YMCAチャリティーランが横浜みなとみらい臨港パークで開催された。

今年も横浜クラブの役割は、横浜つづきクラブと一緒に受付担当だ。受付テントの設営、出走チームの登録受付など、誰が指揮するでもなく、それぞれが各自、自分がやるのが適



抜けるような青空の下に集まった横浜クラブの支援者

★ 強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う ★

当と考えることを自主的にテキパキとこなしていく。崎陽軒から届いた1,200食にのぼるシュウマイ弁当の積み下ろしもバケツリレーならぬ弁当箱リレーで瞬く間に完了させた。このチームワークの良さと老人パワーには崎陽軒の運転手さんも感心しきりだった。

汐入の池のステージでは、YMCAチアダンスクラスの応援演技に続いて、大会実行委員長長の若木湘南・沖縄



感謝の挨拶をされる田口総主事



「空を見上げて下さい……」と閉会挨拶される金子次期部長と青空を見上げる若木部長

部長による開会宣言と挨拶などに続いて、例年通り競技が開始した。開会式の頃には干潮で潮位が下がっていた汐入の池に、16時の満潮に向けて目立って

潮が流れ込み始めた13時過ぎには閉会式が執り行われた。数々の表彰式の後、田口総主事に570万円の寄付金目録が手渡された。

続いて、大会実行副委員長長の金子次期部長が閉会のご挨拶。今大会は、出走チーム数114チーム、ランナー、ボランティア、応援の人達1200名が参加した。

横浜クラブ参加者は、伊藤メン・メネ、大高、金子メン・メネ、古賀、高田、田口、野村、古田、松島の11名。

(横浜つづき)から「東日本区定款改訂について」熱のこもった解説があった。

当研修会の席上、次年度湘南・沖縄部部会の日程が9月16日(土)に設定された。研修後は、四谷駅そばの「テング酒場」でたっぷり2時間懇親のひとときを持ち次年度の準備に備えた。

横浜訓盲院と日本水上学園にワイズポテトを贈呈

金子 功

10月27日(木)、横浜クラブは北海道十勝ワイズメンズクラブ提供のじゃがいも(ワイズポテト)を今年も横浜訓盲院と日本水上学園にそれぞれ100キロ届けた。これは例年、横浜クラブが地域奉仕事業活動の一環として行っているもので、今年も、青木担当主事代理平岡守さんの運転で今村ワイズと金子会長が直接届けた。

今村ワイズの事前の連絡に、横浜訓盲院では鳥居正義施設長が、そして、日本水上学園では児童指導員の掛山忍児童指導員がワイズポテトの到来を待ち構えており、「ワイズ



水上学園訪問



訓盲院訪問

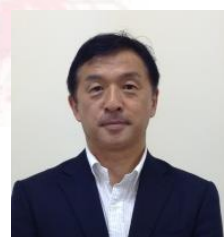
ポテトは特別に美味しいと子どもたちも楽しみに待っていました。」と喜びを示した。

今年は、北海道を襲った一連の台風の影響で出荷量に多少制限があり、個人購

入分とウェルカムフェスタでの販売量を削減しての提供でした。

「近況報告」

野村 郁雄



今年の4月から次女が青森県のキャンパスで授業を受けることになり十和田に引っ越したため、夫婦二人の悠々自適な生活が始まると思っていました。ところが長女が出産を控え近所に戻ってきてから生活が一変。特に4月に孫が生まれてからは、娘一家に振り回されてきました。家内は仕事の前後に時間を作り娘宅へ通うようになりました。その結果、私に家事洗濯の役目が回り、食事も愛犬と二人で取る日が続いていました。これではいけないと思いき々なことにアクティブに挑戦するようになりました。今回は、横浜クラブ入会以外のことを記すことにしました。

- 1) JR大人の休日クラブ会員となって小旅行
特に次女の青森まで4日乗り放題15,000円というチケットはとてもお得です。
- 2) 娘の母校の父親の会(土曜会)に出席
月に1度行われる父親たちの学習会に出席。同級生の父親との再会だけでなく、学童の元メンバーが立派な女子高校生となっており驚きました。

「東日本区次期部長・事業主任研修会報告」

金子 功

去る10月29日(土)2016/17年度次期部長・事業主任研修会が日本YMCA同盟会館で開催され、湘南・沖縄部からは次期部長として金子ワイズが参加した。出席者は現役員、監事、次期役員の他、講師並びにLT委員を加え全員で37名。出席義務者全員が参加したレベルの高い研修会であった。

研修プログラムは、LT委員会(委員長伊藤幾夫ワイズ)が周到に準備したワークブックに従って進められ、利根川恵子理事が「東日本区・アジア地域・国際の現状」について、又、光永尚生東日本区連絡主事が「ワイズとYMCAの協力関係」について解説し、次年度役員のワイズ活動に対する理解を求めた。

栗本治郎次期理事(熱海クラブ)は、次年度の方針の中で、会員の減少と高齢化に危機感をもって対処すべく「EMC」を最大課題ととらえ、各部にエクステンション委員会の設置を求めた。

特別発題としては、辻 剛東日本区定款改訂委員会委員長

- 3) 友人のテニスサークルに参加
定期的に参加し気持ちの良い汗を流した後、美味しいビールと食事を堪能しています。
- 4) 地域ネットワークの構築
地元の仲間とグループを結成しイベントや飲み会を企画。8月には2年前に企画した本牧神社の祭礼に合わせ小学校と民間学堂が協力して本牧山頂公園を明るく照らそうという「つながる本牧つなげる未来へライトアッププロジェクト2016」が無事成功したと元関内ワイズの羽生田さんから報告を頂きました。
- 退職後を楽しく有意義に過ごすために、家族と仲間を大切にし、適度な学習と運動をしながら地域でできることを考え行っています。

第二例会報告

高田 一彦

日時：10月27日(木)
場所：中央YMCA 501号室
出席者：伊藤、大高、金子、古賀、高田、平岡(担当主事代行)、古田、松島
協議・確認事項

- 1) 行事予定の確認
- 2) 十勝ワイズポテト配送について
- 3) 横浜クラブ書庫キャビネット入荷・据え付け完了。
- 4) ウェルカムフェスタ(11/23)について
 - ・値付け等準備作業(19日午後2時より)
 - ・当日は9時に集合
- 5) 第2例会 19日午後1時～2時(準備作業の前)
- 6) 11月26日部評議会出席者確認
- 7) 12月第一例会兼忘年会について(広東飯店)
- 8) 日本語スピーチコンテスト(来年2月24日)について
- 9) 東日本区定款見直しについて
- 10) 11月例会に於いて10日ワイズデーに因んだ話を金子会長から



担当主事 青木 一弘

第19回 横浜YMCAインターナショナル・チャリティーラン実施報告

皆様にお支えいただき第19回横浜YMCAインターナショナル・チャリティーランを無事に実施することができました。今回の参加は、チーム数：114チーム、ランナー数：570名、ボランティア数約230名、ランナーの家族や応援の方々400人、合わせて1,200人が集まり、大会を進めることができましたことを報告いたします。当日まで、ワイズの方々をはじめ、皆様にご協力いただきながら準備を進められたこと、改めて感謝を申し上げます。

第2回 子ども支援基金のためのチャリティーゴルフのお知らせ

このゴルフコンペは、経済的な理由によりYMCAで行う

様々なプログラムに参加することができない子どもたちを支援する基金の増強を目的に開催されます。興味のある方は是非、ご参加ください。

日程 12月16日(金) ※ゴルフ場クローズの場合中止
会場 戸塚カントリー倶楽部 東コース・歩き(貸し切り)
横浜市旭区大池町26
電話：045-351-1241

対象 YMCA会員、賛助会、維持会員及びその紹介者
定員 100名
参加費 3万円(グリーンフィー・キャディフィー・ロッカー代・当日昼食代・チャリティー費用・表彰式パーティー費用・消費税を含む)

(お申込み方法)

1. 申込書に必要事項をご記入の上、11月26日(土)までに郵送、またはFAXで大会事務局へお送りください。
 2. 横浜YMCAホームページのサイトからお申し込みいただくこともできます。
- (大会事務局) 担当者：藤沢 YMCA/チャリティーゴルフ係
電話：0466-26-1151

11月例会プログラム

日時：11月10日(木) 18:30～20:30
場所：横浜中央YMCA 501号室

司会：齋藤ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶 …… 金子会長
2. ワイズソング・ワイズの信条 全員
3. 今月の聖句 …… 今村ワイズ
4. ゲスト・ビジター紹介 …… 金子ワイズ
5. 食前感謝 …… 今村ワイズ
6. 食事
7. 卓話「横浜YMCAが取り組む高齢者事業について」
横浜YMCA高齢者事業部長 瀬谷智明氏
8. ビジネス・報告 …… 金子会長、他
9. *Happy Birthday*：大高幾子(6)、伊藤比朗美(7)
伊藤誠彦(16)、押川幸男(16)、神村玲子(17)
10. 閉会点鐘 金子 会長

例会報告：高田ワイズ

12月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
6	火	19:00	第75回Y-Y協議会	中央Y
8	木	18:00	第一例会兼忘年会	広東飯店
15	木	18:00	横浜Yクリスマス会	とつかY

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは横浜YMCA青木一弘にご連絡下さい。

メール aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org

電話 045-641-5785